

経済安保 地方立地の好機

道文教大 小磯氏に聞く



小磯修二氏

大型データセンター(DC)の立地が決まった苫小牧市の現状と展望について、旧北海道開発庁出身で、2022年まで北海道観光振興機構会長を務め、地域経済に詳しい北海道文教大(恵庭)の小磯修二地域創造研究センター長に聞いた。

◇ 苫小牧市へのデジタル関連の大型投資の背景には、経済安全保障の観点から、地方の立地が再認識されている事情があります。苫小牧の大型DC計画に対し、経済産業省が計300億円

の補助を決めたのは象徴的です。

豊富で安価な海外の労働力に頼る従来のグローバル戦略は、世界情勢の不安定化に伴いリスクが増しています。ロシアや中国、北朝鮮が面する日本海側に比べ、太平洋側の地政学上の優位性は高まっています。災害を念頭に地方分散のため、苫小牧地域を中心にデジタル関連産業の集積は加速する可能性があります。

港と空港を持つ苫小牧の発展の基礎は、1960年代に国が「拠点開発構想」で北海道の成長軸を道央圏に指定したことにあります。ラピダスが提唱する北海道ハレー構想は脈々と築いてきた経済発展の土壌の

上に花を咲かせたとも言えるでしょう。

DCや半導体工場の進出で、苫小牧周辺には国内外から最先端の技術者が集まるとでしょう。教育や文化、住環境を含め魅力的でグレードの高い都市づくり戦略

が求められます。

苫小牧が誘致を進めてきたIR(カジノを中心とする統合型リゾート施設)について議論した際、北海道に集まった世界の企業関係者に苫小牧の魅力を発信したことがありました。こうした経験も生かし、国際的なビジネス環境を創造していくべきです。

(聞き手・栗田直樹)

苫小牧・日高 きょうと明朝の天気

	きょうと明朝の天気										最高気温	最低気温
	6時	9	12	15	18	21	0	3	6	9	きょう	あす
苫小牧											-3	-1
白老											-2	-1
安平・追分											-5	-13
安平・早来											-4	-15
厚真											-4	-1
むかわ											-3	0
むかわ・穂別											-4	-1
日高											-5	-3
日高・門別											-3	0
新ひだか											-2	-1

きのうの最高最低気温は15時までのアメダスデータ(空欄は)